日本標準商品分類番号 875200

貯法:室温保存 有効期間:3年

承認番号 16100AMZ03818000 販売開始 1986年10月

370-

漢方製剤

N106

温 エキス細粒

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	コタロー温経湯エキス細粒			
有効成分	本剤12.0g中 日局ハンゲ・・・・・・ 4.0g 日局ケイヒ・・・・・ 2.0g 日局バクモンドウ・・ 4.0g 日局ボタンピ・・・・ 2.0g 日局トウキ・・・・・ 3.0g 日局カンゾウ・・・・ 2.0g 日局センキュウ・・・ 2.0g 日局ゴシュユ・・・・ 1.0g 日局シャクヤク・・・ 2.0g 日局ショウキョウ・・ 0.5g 日局ニンジン・・・・ 2.0g 上記の混合生薬より抽出した水製乾燥エキス6.0gと 日局ゼラチン・・・・ 2.0g を含有する。			
添加剤	ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖水和物、プルラン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム			

3.2 製剤の性状

剤 形	細粒剤
色 調	淡黄褐色~褐色
味	甘苦い
におい	特異なにおい
識別コード	N106

4. 効能又は効果

冷え症で手掌がほてり、口唇が乾燥しやすいつぎの諸症に用いる。 指掌角皮症、更年期神経症、月経不順、月経過多、月経痛、頭 痛、腰痛、带下。

6. 用法及び用量

通常、成人1日12.0gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投 与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

8. 重要な基本的注意

- 8.1 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮し て投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改 善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 8.2 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血 圧値等に十分留意すること。[10.2、11.1.1、11.1.2 参照]
- 8.3 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意す ること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
- 9.1.1 著しく胃腸の虚弱な患者

食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。

9.1.2 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者 これらの症状が悪化するおそれがある。

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが 望ましい。本剤に含まれるボタンピにより流早産の危険性がある。

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又 は中止を検討すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

10. 相互作用

10.2 併用注意(併用に注意すること)

7712 pm 2215 (pm 2215)					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子			
カンゾウ含有製剤	偽アルドステロン	グリチルリチン酸			
芍薬甘草湯	症があらわれやす	は尿細管でのカリ			
補中益気湯	くなる。また、低	ウム排泄促進作用			
抑肝散 等	カリウム血症の結	があるため、血清			
グリチルリチン酸及びそ	果として、ミオパ	カリウム値の低下			
の塩類を含有する製剤	チーがあらわれや	が促進されること			
グリチルリチン酸一ア	すくなる。	が考えられる。			
ンモニウム・グリシ					
ン・L-システイン					
グリチルリチン酸一ア					
ンモニウム・グリシ					
ン・DL-メチオニン配					
合錠 等					
[8.2、11.1.1、11.1.2 参照]					
ンモニウム・グリシ ン・DL-メチオニン配 合錠 等					

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、 異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行 うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 偽アルドステロン症 (頻度不明)

低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、 体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、 観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認めら れた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置 を行うこと。[8.2、10.2 参照]

11.1.2 ミオパチー (頻度不明)

低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあ るので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常 が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適 切な処置を行うこと。[8.2、10.2 参照]

11.2 その他の副作用

	頻度不明				
過敏症	発疹、発赤、瘙痒、蕁麻疹等				
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等				

20. 取扱い上の注意

- 20.1 本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の 当たらない涼しい所に保管すること。
- 20.2 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。
- 20.3 本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

22. 包装

500g [ポリ瓶、バラ] 4.0g×42包 [分包] 4.0g×147包 [分包]

24. 文献請求先及び問い合わせ先

小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部 〒531-0071

大阪市北区中津2丁目5番23号

TEL 06-6371-9106 FAX 06-6377-4140

(9:00~17:30/土、日、祝日、弊社休日を除く)

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



小太郎漢方製薬株式会社

大阪市北区中津2丁目5番23号